

【目的】患者の負担が低い低侵襲性治療法である Interventional Radiology(以下 IVR)は、あらゆる領域で急速に発展し続け高度医療を展開している。そのため、使用される医材料は多量かつ高額な医材料を使用し検査・治療が行われる。看護師はそ
 の中で、患者ケア、医師の介助にあたりながら、使用した医材料のコスト・使用薬剤の入力も行っている。そのため、人的エ
 ラーとするコスト入力漏れが起こり、これを防止するための対策に務めた結果、意識の変化と知識の向上、チームワークにも
 変化が現れたため報告する。【方法】コスト入力漏れ防止対策の検討、1. IVR に関する職種による合同検討会、2. 使用材料
 チェック表の作成と導入、3. 使用済みコスト伝票の保管徹底、看護師へのアンケートを施行。【結果】対策実施 3 ヶ月後には
 人的エラーとしていた使用済み医材料コスト伝票の紛失が無くなった。チェックリストを使用し伝票管理を行う事で、確認行
 為が増えたが、手技に使用した多量のデバイスの把握が出来、その意識から看護師が検査・治療前に医材料の準備が出来るよ
 うになった。何より、手技に携わるスタッフ間のコミュニケーションが増えた。医師・看護師・技師・臨床工学士(以下 CE)で
 関わる為、4 位間が一体となり確認行為や情報伝達行為が充実した。【結論】IVR 領域では、急速に高度かつ高額な医療材料は
 これからも増加し続ける。今回の取り組みは、看護師以外の職種へのコスト意識向上にも働きかけるきっかけとなった。また
 医療従事者間が一体となることは、手技を行う前の最大の準備である。

評価1	評価2	評価3	採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション	会場	時 分～ 時 分

受付番号

演題番号